



新年あけましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました、厚くお礼申し上げます。

お蔭様で維持管理体制の強化を図ることができました。

その結果、予防措置の早期実施が叶い警報出動が削減できました。

また昨年は、ディスポーザーシステム以外の挑戦もありましたが、

本年は、引き続きDSPシステムに特化し現場主義に徹してまいります。

本年も引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

東京営業所スタッフ一同

ディスポーザー排水処理槽、定期点検から見た留意点

処理方式			保守点検からの留意事項			
生ゴミ分解槽	好気処理槽	沈殿槽	生ゴミ分解槽	好気処理槽	沈殿槽	点検留意点
嫌気方式 	担体流動 60° ホッパー	60° ホッパー	堆積するが分解する 汚泥引抜時期に注意	SV30%以下の運転が望ましい	エアリフトポンプ、スクラムスキマーは常時運転	担体流出の可能性あり、防止対策が必要
嫌気方式 	担体固定 60° ホッパー	60° ホッパー	1日2回転以上の循環を行えば消化がより促進される	SV30%以下の運転が望ましい	エアリフトポンプは常時返送です	嫌気分解槽・流入管の油脂堆積に注意する
好気方式 	担体固定 60° ホッパー	60° ホッパー	生ゴミはほぼ分解する、ボール状の油脂分の処理は速やかに行う	スポンジ担体には安定した処理能力がある、生物脱臭も自然に実施され臭気は弱い	スクラムスキマーは無い、よって、スクラムの浮上除去装置の工夫を	全面曝気運転であり、散気装置の目詰まりに要警戒
好気方式 	接触曝気	最初沈殿 最終沈殿	生ゴミは分解される、SVは高めで安定するが問題なし	生ゴミ分解槽の移送量に注意する、高密度分解槽は安定した能力がある	エアリフトポンプ、スクラムスキマーは間欠運転、時間設定に注意する	原水ポンプ槽、中継ポンプ槽の油脂分の除去に留意する
好気方式 	担体流動	ホッパーなし	未分解物が残りやすい、無機分離槽の曝気強度を確実に確保する	担体流出防止スクリーンに絡む繊維質の除去を怠るな	エアリフトポンプは間欠運転が常時運転の選択が必要	分離槽に浮上するスクラムによる害虫の発生に要警戒
嫌気方式 	接触曝気	ホッパーなし	処理槽の下部に位置し、生ゴミはほぼ分解する	SVは80%程度まで簡単に上がり要注意	沈降汚泥のキャリーオーバーに注意すること	汚泥引抜管からの臭気の発生に要注意、対策を・・・。
プラ炉材 担体流動 		ホッパーなし	未分解物が残る、処理槽の容量が大きなく、滞留時間の確保には工夫がいる		分離槽に浮上するSSの流出を最小限に止めること、工夫を要す	放流ポンプが自動内蔵型ポンプのためフロートに注意
回分式 活性汚泥法 		全槽で沈殿	水深が上下するため曝気強度維持には工夫がいる、SVは上下しながら推移する要注意です		沈殿時間は、2時間か1時間か選択の余地がある	放流ポンプは、短時間排水のために2台運転が望ましいか・・・。

※ 黄色枠はDSPシステムがスタート当初の方式です。 緑色枠は現在の普及タイプです。

水物語No24 天空の城・竹田城

竹田城は兵庫県朝来市和田山竹田にあった日本の山城です。縄張りが見えるように見えることから、別名：虎臥城ともいう。城下から遥か高く見上げる山の頂に位置し、しばしば丸山川の川霧により霞むことから、天空の空や日本のマチュピアとも呼ばれる。雲海に浮かび上がる古城の累々たる石垣群の威容は名物となり、今話題のスポットの一つです。雲海にのぼる、ご来光は一度は見たいものです。

汚泥ゼロ・臭気ゼロ

ハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス

東京都中央区新川1-16-8 KSビル 6F



資料：ウィキペディアより引用